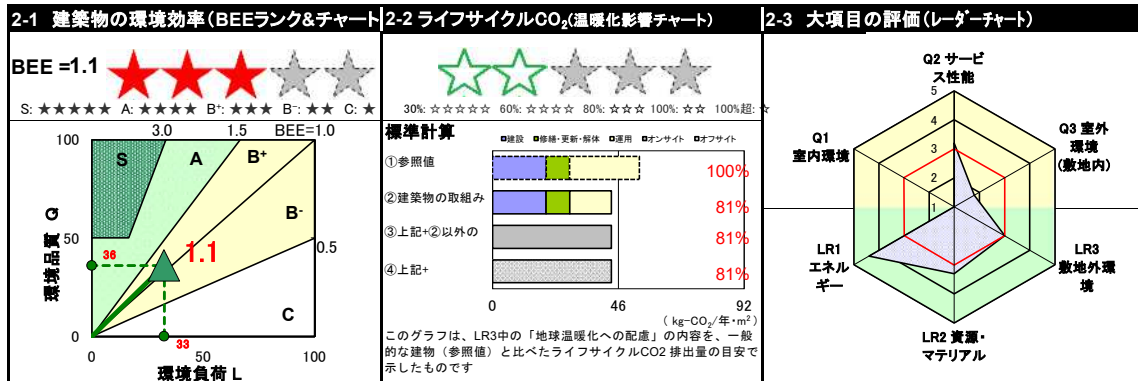
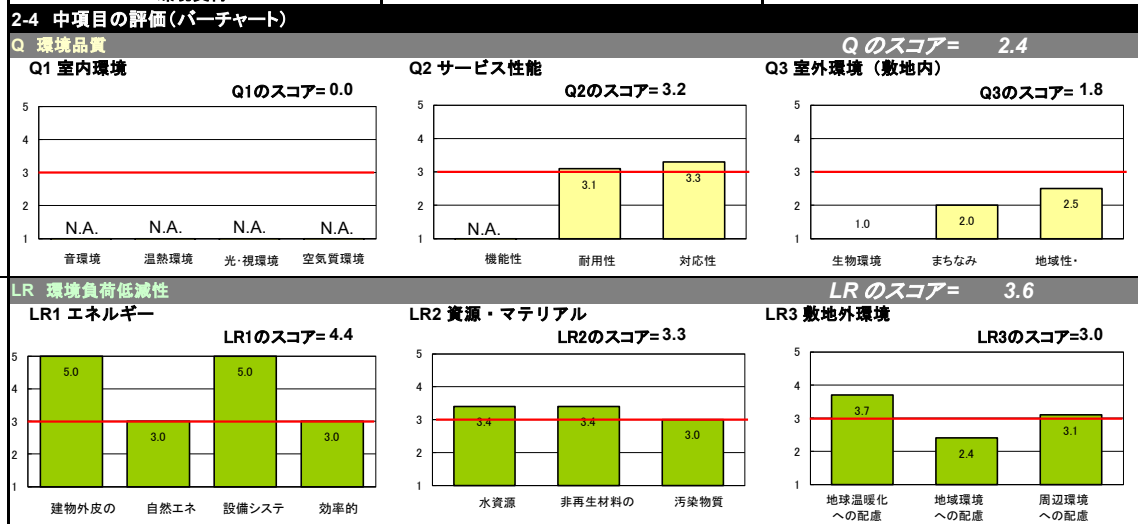


CASBEE® あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要	1-2 外観
建物名称 小牧市三ツ淵原新田新規倉庫	階数 地下0階地上2階
建設地 愛知県小牧市大字三ツ淵原新田字北甲第235番1、236番1、307番1、311番、318番1、342番6、351番1、353番1、359番、文	構造 S造
用途地域 工業	平均居住人員 20 人
気候区分 6地域	年間使用時間 8,760 時間/年
建物用途 工場	評価の段階 実施設計段階評価
竣工時期 2026年7月 予定	評価の実施日 2026年5月11日
敷地面積 28,241 m ²	作成者 堀切 健太郎
建築面積 13,473 m ²	確認日 2026年5月11日
延床面積 16,794 m ²	確認者 堀切 健太郎



3 重点項目					
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化				
3.7 	1.0  <table><tr><td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td></tr><tr><td>20.2 %</td></tr><tr><td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td></tr><tr><td>0.0 %</td></tr></table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	20.2 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)					
20.2 %					
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)					
0.0 %					
②資源の有効活用	④地域材の活用				
3.2 	1.0  <table><tr><td><外装材に使用した地域性のある材料></td></tr><tr><td>なし</td></tr><tr><td><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></td></tr><tr><td>なし</td></tr></table>	<外装材に使用した地域性のある材料>	なし	<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>	なし
<外装材に使用した地域性のある材料>					
なし					
<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>					
なし					

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$ 建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$ 

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
小牧市三ツ淵原新田新規倉庫

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
	重点項目		評価点	評価点	重み係数	評価点		評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.4		
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル			3.0	-	-	-	-			
1.2 遮音			-	-	-	-	-			
1 開口部遮音性能			-	-	-	-	-			
2 界壁遮音性能			-	-	-	-	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-	3.0	-		
1.3 吸音			-	-	-	-	3.0	-		
2 温熱環境			-	-	-	-	-	-		
2.1 室温制御			-	-	-	-	-	-		
1 室温			3.0	-	-	-	3.0	-		
2 外皮性能			3.0	-	-	-	3.0	-		
3 ゾーン別制御性			3.0	-	-	-	-	-		
2.2 湿度制御			3.0	-	-	-	3.0	-		
2.3 空調方式			3.0	-	-	-	3.0	-		
3 光・視環境			-	-	-	-	-	-		
3.1 昼光利用			-	-	-	-	-	-		
1 昼光率			3.0	-	-	-	3.0	-		
2 方位別開口			-	-	-	-	-	-		
3 昼光利用設備			3.0	-	-	-	3.0	-		
3.2 グレア対策			-	-	-	-	-	-		
1 昼光制御			5.0	-	-	-	3.0	-		
3.3 照度			3.0	-	-	-	3.0	-		
3.4 照明制御			3.0	-	-	-	3.0	-		
4 空気質環境			-	-	-	-	-	-		
4.1 発生源対策			-	-	-	-	-	-		
1 化学汚染物質			3.0	-	-	-	3.0	-		
4.2 換気			-	-	-	-	-	-		
1 換気量			3.0	-	-	-	3.0	-		
2 自然換気性能			3.0	-	-	-	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	-	-	-	3.0	-		
4.3 運用管理			-	-	-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視			3.0	-	-	-	-	-		
2 喫煙の制御			3.0	-	-	-	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.43		-	3.2		
1 機能性				-	-	-	-	-		
1.1 機能性・使いやすさ				-	-	-	-	-		
1 広さ・収納性				3.0	-	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画		独自		3.0	-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性				-	-	-	-	-		
1 広さ感・景観 (天井高)				3.0	-	-	3.0	-		
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	-		
3 内装計画				3.0	-	-	-	-		
1.3 維持管理				-	-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保				-	-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性				0.5	3.1	0.52	-	3.1		
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.4	3.0	0.48	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	3.3	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				-	3.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				-	3.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				-	3.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	3.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	5.0	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	3.0	0.23	-	-		
2.4 信頼性				0.1	3.0	0.19	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				3.0	3.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				3.0	3.0	0.20	-	-		

②
主要な配管材にB以上を使用

3 対応性・更新性			0.4	3.3	0.48				3.3
3.1 空間のゆとり			0.3	4.2	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり	階高6.125m	-	5.0	0.60		3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	3.0	0.40		3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31		3.0	-	
3.3 設備の更新性			0.3	3.0	0.38	-	-	-	
1	空調配管の更新性	②	-	3.0	0.17	-	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	3.0	0.11	-	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	3.0	0.11	-	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57	-	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出			独自③	-	1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	-	2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④	-	3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-				3.6
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m =0.63	3.0	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.6	3.0	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用				0.2	3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	3.3
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水			自動水栓設置	3.0	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	3.4	0.63	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			② 独自 路盤材RC-40	-	3.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	3.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				-	3.0	0.50	-	-	
3 冷媒				3.0	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			①	ライフサイクルCO2排出率81%	-	3.7	0.33	-	3.7
2 地域環境への配慮					0.3	2.4	0.33	-	2.4
2.1 大気汚染防止					-	3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					-	2.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	2.7	0.25	-	
1 雨水排水負荷低減			独自		-	3.0	0.25	-	
2 汚水処理負荷抑制					-	3.0	0.25	-	
3 交通負荷抑制			独自	駐輪場、荷捌き	-	4.0	0.25	-	
4 廃棄物処理負荷抑制					-	1.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮					0.3	3.1	0.33	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					0.4	3.0	0.40	-	
1 騒音			独自		-	3.0	1.00	-	
2 振動			独自		-	-	-	-	
3 悪臭					-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					0.4	3.0	0.40	-	
1 風害の抑制					-	3.0	0.70	-	
2 砂塵の抑制					-	3.0	-	-	
3 日照阻害の抑制					-	3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制					0.2	3.7	0.20	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				広告物照明を行っていない	-	4.0	0.70	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					-	3.0	0.30	-	

重点項目スコアシート
小牧市三ツ淵原新田新規倉庫

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.7
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.7	0.10	3.2
② 資源の有効活用				
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:20.2%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

重点項目スコア=

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 小牧市三ツ淵原新田新規倉庫

計画上の配慮事項	
総合	外構整備をきちんとしており、設備機器の高効率化をしている。
Q1 室内環境	評価対象外
Q2 サービス性能	維持管理に配慮した設計
Q3 室外環境(敷地内)	必要最低限の配慮をしている。
LR1 エネルギー	設備システムを高効率的に計画している。
LR2 資源・マテリアル	節水型機器等を採用している。
LR3 敷地外環境	駐輪場、荷捌き等の確保をしている。
その他	